

令和2年度教育研究活動報告書

氏名	金田陸幸	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士	職位	准教授
専門分野	財政学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	財政学Ⅰ、財政学Ⅱ、地方財政論、専門演習Ⅰa、専門演習Ⅰb、専門演習Ⅱ、外国書購読Ⅱ、基礎演習Ⅰ
大学院	財政学特論
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）税と社会保障の実証分析	
（2）エージェントベースドモデル	
（3）子どもの貧困と教育格差	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R2・R1・H30	
R2 〈論文〉「平成30年度税制改正による個人所得課税制の所得再分配効果への影響：マイクロシミュレーションによる分析」、『季刊個人金融』2020年春号、pp.100-111、依頼論文 〈学会発表〉「エージェントベースドモデルによる就業状態と所得の将来推計」、生活経済学会2020年度第36回研究大会、オンライン、共著 〈パネラー等〉「エージェントベースドモデルによる所得分布の将来推計と研究の今後の展望」、東北大学高齢経済社会研究センター、2020年度社会にインパクトある研究オンラインシンポジウム、オンライン、共著	
R1 〈論文〉「エージェントベースドモデルによる日本の人口・世帯数の将来推計」、共著、2020年3月、生活経済学会、『生活経済学研究』、第51巻、pp.77-89、査読有 〈論文〉「エージェントベースドモデルによる日本の将来人口・世帯数の推計に必要な初期値データとイベント発生確率の推計」、共著、2019年12月、尾道市立大学経済情報学部、『尾道市立大学経済情報論集』、第19巻第2号、pp.103-pp.120、査読なし 〈学会発表〉「要介護者が属する世帯数の将来予測：エージェントベースドモデルによる推計」、日本財政学会第76回大会、横浜国立大学常盤台キャンパス、共著。 〈学会発表〉「マルチエージェントモデルによる日本の人口・世帯数の将来像」生活経済学会2019年度第35回研究大会、東洋大学（白山キャンパス）、共著。	
H30 〈著書〉「個人所得課税の公平性と効率性」、単著、2018年10月、日本経済評論社 〈論文〉「個人住民税における税率と控除の所得再分配効果」、単著、2018年3月、尾道市立大学経済情報学部、『尾道市立大学経済情報論集』第17巻第3号、pp.39-67、査読なし 〈パネラー等〉「高齢者の所得・資産と生活意識」、単著、2018年9月、東北大学経済部・研究科 高齢経済社会研究センター 高齢経済社会研究センター2Dayセミナー、東北大学川内南キャンパス	
H29以前の主な研究業績	
（1）〈論文〉「所得税制における税率と控除の所得再分配効果」、単著、2017年12月、尾道市立大学経済情報学部、『尾道市立大学経済情報論集』第17巻第2号、pp.21-60、査読なし	
（2）〈論文〉「タイの個人所得税改革による労働供給への影響：マイクロシミュレーションによる分析」、共著、2017年9月、日本人口学会、『人口学研究』第53巻、pp.1-22 査読有	
（3）〈論文〉「配偶者控除制度と有配偶女性の労働供給の変化」、共著、2016年3月、生活経済学会、『生活経済学研究』第43号、pp.13-29、査読有	
（4）〈論文〉「税制改正にともなう家計の所得弾性値：高齢者パネルデータによる実証分析」、共著、2016年3月、関西学院大学経済学部、『経済学論究』第69巻第4号、pp.1-16、査読なし	
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） H30・R1・R2	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
日本経済学会、日本財政学会、日本地方財政学会、生活経済学会、日本人口学会	
学術表彰（本年度を含む過去3年間の研究業績）	
2019年11月 第28回 租税資料館賞	